

危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第11回 高速道路の合流点で

活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見ながら、Q1、Q2について意見を出し合います。
- ③ その後、「解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すればいいか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJのホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

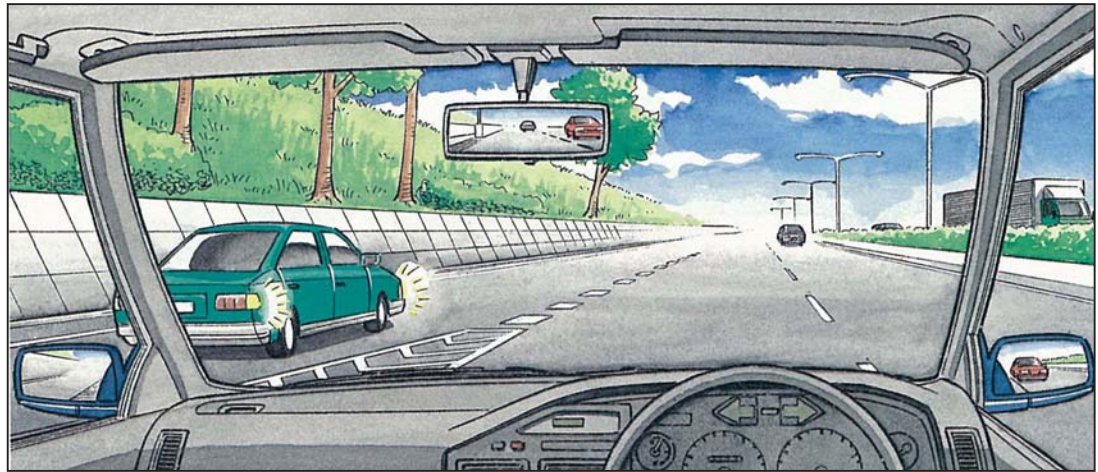
本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736



今回のKYTの題材は、Hondaの危険予測トレーニング教材「交通状況を鋭く読む〜危険予測トレーニング(四輪車用)」から抜粋しています。詳細については以下ホームページ参照。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/>

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、高速道路での安全運転を考えてもらうためのKYTです。企業/団体などでのグループ教育の学習の中で活用してください。



あなたは走行車線を走っています。  
加速車線から1台のクルマが合流しようとしています。  
どんなことに注意して運転しますか？

正解を1つ、または2つ選んでください

Q1 どのような危険がありますか？

- ① 加速車線のクルマと同じくらいの速度で走れば危険はない
- ② 加速車線から合流するクルマと衝突する
- ③ 追い越し車線に急に車線変更をして、後続車と衝突する

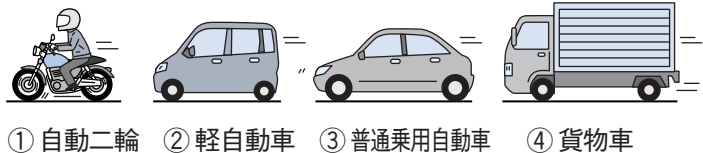
Q2 どのような運転をしますか？

- ① 加速車線のクルマが合流しやすくするため、すぐに追い越し車線に車線変更する
- ② 加速して加速車線のクルマに割り込まれないようにする
- ③ ゆるやかに減速し、加速車線から合流するクルマとの車間距離を確保する

©本田技研工業(株)

SJクイズ?

Q1 平成20年中の高速道路での交通事故件数を車種別にみた場合、最も多いのは次のうちどれ？

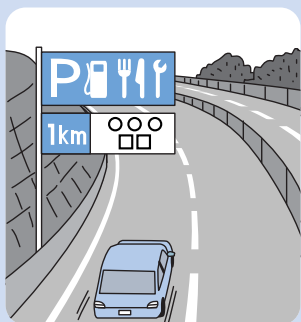


Q2 平成20年中の高速道路での交通事故件数を違反別にみた場合、最も多い違反は次のうちどれ？

- ① 前方不注意
- ② 安全不確認
- ③ 最高速度違反
- ④ 車間距離不保持

Q3 高速道路の休憩施設であるサービスエリアは、概ね何kmおきに設置されているでしょう？

- ① 約20km
- ② 約30km
- ③ 約50km
- ④ 約100km



※「解答」は7面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。

ホンダ SJ 検索

The 教材

このコーナーでは、全国各地の自治体や警察、企業・団体などが制作した交通安全教育教材をご紹介します。



「ホットあんしん訪問」マニュアル 4・5ページより

File.4 兵庫県警察本部ホームページ内「交通安全教育マニュアル」

企画・制作：兵庫県警察本部

●ページの紹介

「交通安全教育マニュアル」のページでは、各種交通安全マニュアルがまとめて掲載されている。兵庫県警察本部交通部交通企画課によると、自治体・団体等のリーダーが地域における交通安全教室を実施する際に活用できるよう、テーマ毎に指導のポイントをわかりやすく紹介しているのが特徴という。ホームページからダウンロードすることで一冊の冊子となるように掲載されている。

●教材の特徴

同ページには、複数のマニュアルが掲載されているが、その一部を紹介する。

「自転車の交通安全マニュアル」は、自転車利用者に対し、基本的な知識や損害賠償に至った事故

事例などを指導できる内容となっている。

「ホットあんしん訪問」マニュアルでは、高齢者宅への訪問による交通安全教育の際の心得や注意点、指導内容がまとめられている。

「電動車いすマニュアル」は、電動車いすの正しい取扱いを指導する要領をまとめた指導者用と安全な利用を学習していただく利用者用の2種類が紹介されている。

●ホームページのアクセス方法

兵庫県警察本部ホームページ  
<http://www.police.pref.hyogo.jp> から、  
安全安心な生活→交通安全教育マニュアル